

## 令和元年度淀川区区政会議 第2回コミュニティ力向上部会 議事要旨

日 時：令和2年1月14日（火）午後6時31分～午後8時31分

場 所：淀川区役所 5階 501会議室

出席者：

- ・委員5名（8名中）  
奥委員、光在委員、中井委員、福岡委員、横山委員  
[欠席委員：川阪委員、和田委員、山本委員]
- ・区役所  
西総務課長、久保政策企画課長、畑中市民協働課長、  
山崎市民協働課長代理 外

内 容：

1. 開 会
2. 政策企画課長あいさつ
3. 議長、副議長の選出
4. 議 題 「令和2年度淀川区運営方針（案）の策定について」
  - (1) 令和2年度淀川区運営方針 概要版（案）について
  - (2) 地域コミュニティの活性化について
  - (3) 区におけるSNSでの情報発信について
5. その他

資 料：

### 【当日配布資料】

- ・次第
- ・区政会議部会名簿
- ・座席表
- ・SDGs達成に向けた大阪市の主な取組み
- ・配付資料一覧
- ・ご意見票
- ・よどマガ1月号
- ・くらしの便利帳（淀川区）

### 【事前配布資料】

- ・（資料1）令和2年度淀川区運営方針 概要版（案）
- ・（資料2）ご意見をうかがいたい内容

- ・(資料3) 平成30年度淀川区運営方針 区政会議委員による評価 集計結果
  - ・(資料4) 区政会議における令和2年度淀川区運営方針に関するご意見への対応方針
  - ・(参考) 令和元年度第1回淀川区民アンケート集計結果
- 

## 1. 開 会

## 2. 政策企画課長あいさつ

各委員及び担当課、区政会議運営事務局による自己紹介。

## 3. 議長、副議長の選出

奥委員を議長、横山委員を副議長とすることを互選により決定。

## 4. 議 題 「令和2年度淀川区運営方針(案)の策定について」

### (1) 令和2年度淀川区運営方針 概要版(案)について

○運営方針の制度説明や昨年度からの変更点について説明。(蔵本政策企画課担当係長)

○各担当課より具体的取組の説明

- ・経営課題3 つながるまちの実現の具体的取組3-1-1~3-2-1について説明(畑中市民協働課長)
- ・経営課題4 区民のための区役所づくりの具体的取組4-1-1~4-2-1について説明(久保政策企画課長)
- ・経営課題4 区民のための区役所づくりの具体的取組4-3-1~4-4-1について説明(西総務課長)

### (2) 地域コミュニティの活性化について

○区政会議委員の皆様にご意見をうかがいたい内容「地域コミュニティの活性化」について区役所より説明

- ・若年層向け区民アンケートの結果を受け、今後、町会の認知度を高めることが重要な課題であると考えました。そのため、区役所としては、令和2年度の主な取り組みとして、転入者向けの地域紹介小冊子を18地域それぞれに作成してもらい、転入手続の窓口等に設置するという取組と、区内18地域でFacebookやTwitterなどで情報発信ができるように、区で支援する取組の2点を考えています。ほかにいい案があればお聞かせいただきたいです。(山崎市民協働課長代理)

- 現在、マンションに掲示板が設置されていないところがあり、SNS やくらしの便利帳などがあっても見ない人もいます。マンションの建設時から何年も関わり、町会費をいただくなど地域の活動に参加していただくために一生懸命活動していますが、なかなか地域の活動内容が浸透していかないのが、地域の役員はジレンマを抱えています。(中井委員)
- 自分が知りたいことを調べるのはSNS、自分が知りたいことが決まっていな中で区がどんなことをやっているのかを知るには紙の媒体がいいと思うので、これは両方必要だと思います。(福岡委員)
- 取組1の転入者向けの地域紹介小冊子ありがたいと思います。冊子の最後に自分の住んでいる町会の特色や行事内容を書き込めるように、余白を残してほしいです。そこに役員が書いて、それを手渡して顔を見て話しをし、町会に入ってもらい、そういうふうに行きたいです。(光在委員)
- 若い世代は町会に何のために入るのかわからないと思います。町会加入の具体的なメリットを直接会って伝えることができればよいですが、今の若い世代は家にいないのでなかなか会えないです。会えない人たちにはどうアクションをもって接するかをまず考えないといけません。動画を使ってYouTube にあげるなど、関心を引く方法を考える必要があります。(横山委員)
- そもそも町会とは何かということは、区全体で共通の内容を作るべきです。(横山委員)
- 町会が情報発信を担っていると町会加入している約半数にしか情報は届かないですが、町会非加入者でもほしい情報は自ら取りに行くので、自ら情報を取りに来させるような仕掛けを作らなければならないと思います。(福岡委員)
- 地域が実施する活動にはコストがかかっており、町会費で負担しているということは事実として知らせる必要があると思います。(中井委員)
- 年長者の方は町会の価値というのは結構認めていますが、若い人たちに価値は見えてないのが現実かと思っています。私の地域では、まず情報発信して、活動に参加した若い人に町会に入ることのメリットを説明すると加入してくれました。(奥委員)

- 地域紹介の冊子に、アンケートの回答内容を盛り込めば少なくともアンケートに答えた若年層の人たちは興味を持つのではないのでしょうか。(横山委員)
- 地域として、効果的に情報発信できる人材を確保できるかどうかです。地域の行事は、正確な日時が確定するのが1カ月ぐらい前になるので、そこから情報発信を紙でやるのでは間に合いません。行事の事前周知もSNSを活用すれば効果的に発信できると思います。(福岡委員)
- 盆踊りに来てもらうというだけでなく、企画段階から参画してもらえると、みんなで苦勞や喜びを共有できて、町会へ入るかというようになるのではないのでしょうか。(福岡委員)

### (3) 区における SNS での情報発信について

- 区政会議委員の皆様にご意見をうかがいたい内容「区における SNS での情報発信」について区役所より説明
  - 区民アンケートの結果では SNS を利用している若者は多いが、広報誌が最も読まれていることが分かりました。区役所としても SNS は情報発信の有効なツールだと考えているので、行政が SNS をより有効に使用するためにはどうすればよいかご意見をいただきたいです。(久保政策企画課長)
  - SNS に関して、フォロワーは多ければ多いほど影響力が増すので良いと考えている。さらにフォロワーを増やすためには、Twitter や Facebook のフォロワー数が他区に比べて多いことをもっとアピールしてはどうでしょうか。ノウハウのある民間に委託して情報発信側になってもらうという形にすると、区の職員による発信よりも面白いものができると思います。(横山委員)
  - LINE や Facebook などの SNS の利用者を増やすためには、使い方を教える必要があります。また、発信する内容を魅力的なものにするためには、区役所が公式で発信するよりも、区役所の情報をかみ砕いて、地活協がそのかわりに自分の言葉で発信することが一番理想的だと思います。(奥委員)
  - 淀川区防災 LINE のように子育てや教育といった分野ごとに LINE を作って、自分が欲しい情報を受信できるような取り組みを行ってはどうでしょうか。(福岡委員)

- ・子育てに特化した情報発信のチャンネルがあれば、町会加入にもつながると思います。(奥委員)
- ・淀川区の公式アカウントでは無理だと思いますが、夢ちゃんが区役所の手続きの説明をするというようなアカウントを作成すれば興味を持って見てもらえるのではないのでしょうか。(横山委員)

## 5. その他

- ・公募委員と地域活動協議会の推薦委員のバランスを考えていただきたいです。現在地域からの推薦委員が18人と公募委員が4人ですが、公募委員、企業の代表者、NPOの代表者等が満遍なく、まちづくりというテーマに沿って集まるほうが効果的な意見交換できると思いますので、もっと公募委員を増やすべきではないでしょうか。(横山委員)

⇒地域推薦の委員を置くことは、全市的な方針で決定しています。これに対して、委員定数の1割以上の公募委員を参加させることが条例で決まっているため、淀川区役所では最低2人以上となっています。現在、公募委員は4名となっていますが、公募委員のあり方については、他区を参考に検討します。(蔵本政策企画課担当係長)

- ・区政会議委員は地域とのパイプ役となり、情報を発信する必要があると認識しています。資料については地域の会長に渡して情報を伝達していきたいと考えています。(中井委員)